

2024 年度

活動報告ならびに決算



一般社団法人 JLMM

2024 年度 JLMM 活動報告

1. 2024 年度の動きと成果（概要）

概況

カンボジアで2名、フィリピンで1名の派遣者が活動した。

プノンペン市郊外のステンミエンチャイ地区での活動は、現地スタッフによって運営が継続されている。

日本国内では、国際協力イベントやバザーへの参加や、学校企画としてのカンボジアスタディツアーを実施した。

派遣地における活動

カンボジア・プノンペン市においては2020年4月以来、日本からの派遣者不在の状態だが、プログラム・コーディネーターのソピア氏を中心とした3名のコアスタッフおよび3名のアシスタントスタッフが活動を継続している。

2024年2月からカンボジア・バタンバン市に派遣されている楯知子が、バタンバン教区が運営する保健活動に参画した。

2024年2月からカンボジア・シェムリアップ市に派遣されている中島愛が、ショファイユの幼きイエズス修道会が運営するプレスクールでの幼児教育活動やシェムリアップ教会の活動などに参画した。

フィリピン・ミンダナオ島キダパワン市においては、2023年8月より児童養護施設「イースタービレッジ」にて生活している東さよみが、2024年2月より同施設の保健教育などの活動を継続している。

派遣候補者募集と研修、派遣

2024年4月以降の研修所が確保できず、2024年度の派遣候補者募集は行わなかったため、研修を実施しなかった。

スタディツアー

学校企画としてスタディツアーを開催した。7月に静岡聖光学院高等学校ラグビー部、上智福岡高等学校、8月に横浜雙葉高等学校、12月に広島学院高等学校の計4校のカンボジアスタディツアーを実施した。

また、8月に大阪高松教区幼稚園教員を対象としたカンボジア研修ツアーを実施した。

2025年2月には、サレジオ学院高等学校1年を対象としたカンボジア・バーチャルスタディツアーを実施した。

イベント・活動紹介・物販（地域と教会に向けた広報の拡充）

JLMM の現在の活動国や過去に派遣した国、また地域でつながりのある各国の人々との、食を通じた地域における国際交流のため、事務所のある神奈川県鎌倉市内の飲食店「ソンベカフェ」と連携したイベントを企画実施。5月「スリランカ・ナイト!」、9月に「ミャンマー・ナイト!」を開催した。

ラチャナ・ハンディクラフト、コーヒードリップパック、胡椒については地域のイベント、教会のバザー、各地での活動報告会などにあわせて販売した。教会や学校での委託販売やオンラインによる販売も行った。

連携事業

AFMET(特定非営利活動法人 AFMET)、カリタス南相馬(一般社団法人カリタス南相馬)、ERST との連携事業を継続した。

カトリック中央協議会復興支援室「緊急対応支援チーム ERST」の事務局として、災害時における緊急対応のシステムづくりや各教区での災害対応ワークショップを実施するほか、2024年1月からは能登半島地震被災地支援立ち上げに関わり、10月より「カリタスのとサポートセンター」の運営委員として活動に参画している。

各国派遣状況及び会員数は以下のとおりである。

2025年3月31日現在の派遣国と派遣者

カンボジア…2名

フィリピン…1名

計 2ヶ国 3名

2025年3月31日現在の正会員数 10名(名簿は後述)

2025年3月31日現在の賛助会員数 2,183(個人・団体)

内訳

個人… 1,000、教会… 345、修道会… 514、学校… 187、その他… 137

成果

- ・3名のレイミッシヨナリーの派遣と現地における支援活動を継続することができた。
- ・地域イベントの開催や参加において、新たな支援者・協力者を獲得することができた。
- ・派遣者不在のカンボジア・プノンペン市の活動においては、現地スタッフによる活動の運営が促進された。
- ・能登半島地震被災者支援や「カリタスのとサポートセンター」の設立準備および運営に貢献できた。

課題

- ・学校企画のツアーが数多く企画されており、またコロナ対応への不安と円安傾向が続いている影響もあり、一般募集のスタディツアーが企画できなかった。
- ・海外への渡航費、宿泊費などの上昇と円安の影響で、海外事業やスタディツアーの実施、輸入事業が以前に比べて経済的に難しくなっている。
- ・派遣候補者の確保が年々難しくなっており、海外派遣事業以外の活動(国内・海外研修プログラムの一
般公開企画など)を検討する必要がある。
- ・当会の存続も含め、今後についても検討する必要がある。

2. 各国活動

(1) カンボジア

I プノンペン市ステンミエンチャイ地区ゴミ集積場周辺に暮らす家族のための生活向上支援

JLMM カンボジア現地コアスタッフ3名(ソピア、サヴェット、マーリン)がプノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村における活動の運営を担当し、3名のアシスタントスタッフとともに活動を継続した。

2024年度は、次のとおり事業を実施した。事業実施に関する活動資金の一部は、大阪高松大司教区「カンボジアの日」、海外邦人宣教者活動援助後援会(JOMAS)などからの支援を受けた。

1.概要

コロナ禍で断続的に閉鎖されていた学校など教育機関の活動が2021年11月から再開された。それに伴い、2024年度には「子どもの家」の活動はじめほとんどの活動がコロナ禍以前の状態に戻っている。

しかしコロナ禍の影響を受け、JLMMの活動地のステンミエンチャイ地区、特に有価物収拾により現金収入を得ている住民の多いルッセイ村では、収入が減り支出が増加することで生活困窮の度合いを増している。そのため、コロナ禍に実施していた食糧支援活動は規模を縮小させて継続した。

2. 活動

月曜日から金曜日の午前7時から11時まで、および午後2時から5時まで次の活動を行った。

スタッフは、母親センターの清掃・メンテナンス、教材開発、母親セミナーの準備、図書室整備、教室の整備、ゲームの準備、ドリップパックコーヒー生産・発送、ハッピーアイス業務、食料パックの準備と配布、銀行手続きや会計業務などを行った。

A. 子どもの家 (Home of Children Program)

年齢層にあわせた3クラスの活動を週5日間、コロナ前と同様に実施した。

歌、衛生教育、本の読み聞かせ、クメール語学習、塗り絵、絵画、ゲーム、パズル、絵本などの活動を実施し、約120名の子どもたちが活動に参加した。参加する子どもの数は昨年度と比べて増加している。

月曜から金曜まで、8時30分から11時まで実施し、給食を提供した。

ゴール	すべての子どもたちが公立小学校で学ぶことができる			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが活動を通して創造力を身につける ・子どもたちがクメール文字の読み書きを習得する ・子どもたちがより多くのクメール語の単語を学ぶ ・子どもたちが病気について知り、予防することができる ・子どもたちが手洗いを習慣とすることができる ・子どもたちが規則を守ることができる ・子どもたちが「誠実」「尊敬」「正直」の良い性格を身につける ・子どもたちが大きな家族の兄弟姉妹として、お互いに愛し合うことができる 			
対象	<ul style="list-style-type: none"> - 「小さな小さな子どもの家」3歳～5歳、35名(昨年35名) - 「小さな子どもの家」4歳～7歳、28名(昨年34名) - 「大きな子どもの家」7歳～13歳、23名(昨年33名) 			
活動時間	8時30分～11時			
活動場所	プノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村			
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
歌	歌	歌	歌	歌
クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習
健康	道徳	健康	道徳	健康
工作	数字学習	絵画	運動／音楽	数字学習
自由遊び	塗り絵	自由遊び	塗り絵	ゲーム
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ
給食	給食	給食	給食	給食

2024年度中、平均参加者数は2024年(4月～12月)には129名(昨年度84名)、2025年(1月～3月)には105名(昨年度119名)と増加した。

図書館は月曜から金曜までの午前7時30分から10時30分まで開室した。



クメール文字を学習する子どもたち



「子どもの家」の教室

B. 託児所 (Day Care Center)

3歳から5歳までの幼児35名を、6時30分から18時まで預かった。

ゴール	子どもたちが楽しく託児所に通うことができる			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健康な体と心が育まれる ・子どもたちが活動を通して創造力を身につける ・子どもたちが手洗いを習慣とすることができる ・子どもたちがクラスで友だちをつくることができる ・子どもたちが保護者、年上の人、教師に対して挨拶ができる 			
対象	3歳～5歳、男子19名(昨年17名)／女子16名(昨年18名) 計35名			
活動時間	6時30分～18時30分			
活動場所	プノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村「小さい子どもの家」			
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
歌	歌	歌	歌	歌
道徳	衛生	道徳	衛生	道徳
塗り絵	お絵描き	塗り絵	お絵描き	塗り絵
自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	運動
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ
給食	給食	給食	給食	給食
昼寝	昼寝	昼寝	昼寝	昼寝
歌	歌	歌	歌	歌
お絵かき	数字	色	お絵かき	運動
自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び
おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ
DVD 鑑賞	DVD 鑑賞	DVD 鑑賞	DVD 鑑賞	DVD 鑑賞

＊「自由遊び」はパズル、人形遊び、おもちゃ遊びの中から子どもが自由に選ぶ

C. 健康ケア支援（Basic Health Care Service）

「子どもの家」に参加する子どもたちやルッセイ村の住民に対して、健康ケアの支援を実施した。

けが、切り傷、かゆみ、シラミ、眼の病気に対して医薬品を提供して対処した。同時に治療方法や予防法についての指導も行った。状況に応じて、経済的困窮者に対して無料診療を行う NGO や地元の病院とつなぎ、対応した。また緊急時には医療施設への交通費支援やコメの配給支援も行った。

D. 収入創出プログラム（Income Generation Program）

ゴミ收拾に代わる安定的で衛生的な収入源確保のため、収入創出プログラムを実施した。ステンミエンチャイ地区周辺やプノンペン市にて、屋台貸し出しプロジェクトとしてロッティ(クレープ)およびハッピーアイスを販売した。主に公立小学校や民間の学校の前や、村の中での販売を行っている。

地域の母親たちの収入創出のため、コーヒードリップパック生産を行った。プノンペン市内のイオンモール、シェムリアップの店舗、日本での販売のために生産と発送を行った。ゴミ收拾に代わる仕事として、また子どもの就学を支える手段として実施した。今後も生活困窮にある女性、特に寡婦を対象とした生産者の拡大を目指したい。

D-1) 屋台貸し出しプロジェクト

ロッティ(クレープ)販売はシーウォンさん、ハッピーアイス販売者はソピアップ、サンポウさんの2名が参加した。

D-2) ドリップパックコーヒー生産

日本 JLMM 事務局、イオン・プノンペン支店、シェムリアップの土産物店舗での販売用に、9,468個(昨年度10,691個)のドリップパックコーヒーを生産・送付した。



屋台貸し出しプロジェクトを日本の高校教員が訪問

E. 緊急食糧支援 (Emergency Food Support)

3年間にわたるコロナ感染症の拡大は、カンボジアの経済危機をもたらし、特にステンミエンチャイ地区に暮らす貧困家庭の生活に大きな打撃をもたらした。プロジェクト地のルッセイ村では住民のほとんどがゴミ収集、建設現場や工場のワーカー、オートバイタクシーの運転手などであり、収入が十分に得られない状況にある。生活困窮の10家族を対象に、コメ10Kg、魚醤1本、インスタントヌードル5袋、調味料2袋をパックにして毎月上旬に継続配布した。



生活困窮世帯に食糧支援を継続



ルッセイ村でゴミ袋を編む住民

5) その他

- ・報告関係…CDC (カンボジア開発評議会)、カンボジア政府教育・青年・スポーツ省、プノンペン市ミエンチャイ区への3カ月毎の報告書、JLMM 東京事務局への2週間毎の報告書、月間会計報告、会議報告書、カンボジア政府との活動合意書 (MOU) 更新、財務省への決算報告、カンボジア外務省への年間事業報告書などの作成・提出。

- ・シムリアップの修道会支援…ID カード、NGO ビザ更新手続き

II. バッタバン州における保健の質の向上および地域住民の生活向上

2024年2月8日に現地派遣された楯知子がバタンバン市内のバタンバン教区が運営する保健教育プログラムを継続した。楯は主にヘルスセンターと村での診療活動に従事した。



村での診療活動



歯科の診療活動

ヘルスセンターでは昨年度より患者数が増加した。1日約20から40人程度が来所する。症状としては昨年度と変わらず糖尿病患者が多い。

6月と7月に糖尿病予防教室をバットンバン教会とタヘン村で各1回ずつ開催した。7月からはエクササイズ教室を開始し、楯が担当となり2人から7人程度の参加者とともに継続している。参加している患者の血糖値、HbA1c、血圧の改善等の効果があがっている。

5月、7月、11月は近隣や遠隔地の村落への診療に同行した。5月と11月はヘルスセンターのスタッフのみで、7月はヘルスセンタースタッフに加え、フランス人ボランティア医師1名が参画した。

9月はオーストラリアからの医療チーム約30名がヘルスセンターと村落における診療を行い、楯はヘルスセンターの診療補助を行った。12月はシンガポールからの医療チーム約30名がヘルスセンターと村落において診療を行い、楯は歯科チームに同行し近隣のドンボスコスクールにて検診と治療の補助を行った。

10月からは糖尿病に対する保健指導を開始した。患者の反応は良好で継続していくことになった。

今後に向けて、エクササイズにおける新たな参加者の獲得、糖尿病予防教室ではヘルスセンタースタッフのモチベーションの向上が課題となっている。



村での糖尿病予防教室



教会でのエクササイズ教室

Ⅲ. シェムリアップ州における幼児教育の質の向上および地域住民の生活向上

2024年2月9日に現地派遣された中島愛が、シェムリアップ市のショファイユの幼きイエズス修道会が運営するプレスクールおよびシェムリアップ教会コミュニティにおいて活動を継続した。

1) プレスクール（ショファイユの幼きイエズス修道会運営）

プレスクールには4歳児、5歳児クラス計約60名が通園しており、園児は「生きる力の基礎」を育んでいる。園児にとって生活や学び、人格形成の基礎を培う重要な役割を果たしている。中島はアシスタントとしてプレスクールの活動に参画した。

プレスクール 1 日の流れ

7時30分～8時15分 登園: 道具遊び、野菜に水やり

8時15分 全体朝礼: 国歌斉唱・国旗掲揚

8時25分 足洗い

8時35分～9時 クラスでの朝礼: 沈黙、朝の挨拶、歌、出欠確認

9時～9時15分 先生によるクメール語絵本読み聞かせ

9時～10時15分 お仕事: 園児それぞれの「お仕事」に取り組む。ボール遊び、踊り、プールなど。園児の健康状態や衛生状態(シラミの有無)の確認。園児の洗濯、衣類をたたむ作業の見守り。

10時15分～10時45分 食事: 園児による当番制で配膳。園児それぞれの食事摂取量の確認。先生による身体測定の結果と食事量の確認。

10時45分～11時 終礼: 片付け、終礼。

5歳児クラスが授業にカンボジア伝統舞踊のクメールダンスを取り入れ、発表会で披露した。



読書



クメールダンス発表会

年に一回の健康診断と内科検診を実施した。園児の健康状態を把握することを目的とし、園児の体の成長を確認、プレスクール生活を送るに当たり支障があるかどうかの疾病をスクリーニングした。



健康診断を実施



内科検診

年に三回、歯科医を招聘し、歯科検診および歯磨き指導を実施した。歯や口腔の疾病および異常の早期発見を目的としている。園児だけでなく、プレスクールの先生にも歯磨き指導を実施し、口腔内環境が悪い園児は食後に自分で歯磨きをした後、プレスクールの先生が仕上げ磨きをできるようにした。むし歯がある園児は歯科へ行き、虫歯の治療を行った。



歯科医師による歯磨き指導



歯の模型を使用し、各自で歯磨き実践

シエムリアップ教会の活動

シエムリアップ教会はシエムリアップ市内および4箇所のコミュニティと農園で活動を展開しており、今後の JLMM との連携構築のため中島が活動に参画し、協力した。

シエムリアップ教会では市内をはじめ、タオム (Taom)、ピアクスナエン (Piak Snaeng)、プレイクトアル (Prek Toal)、コンポンクレアン (Kompong Khleang) の各コミュニティにおいて、子どもたちを対象とした給食活動 (お粥)、幼稚園、保健教育、伝統舞踊教室、母親と青年に向けた識字教室、青少年活動、ハンディクラフトなどの活動を実施している。

2) 家庭訪問・食料配布 (シエムリアップ教会の活動)

月に一回、村を回り、病人や高齢者・乳児の家庭訪問を行った。その際に、体調、経済状態、食の状態などの把握も行った。必要に応じて、米や乾麺、油、ミルク、調味料を配布した。



米・調味料配布



村落における家庭訪問

3)給食活動・医療配布（シェムリアップ教会の活動）

生活困窮家庭の子どもたちを対象に毎週日曜日にボボー（野菜や肉、卵が入ったお粥）を配布した。ボボーは柔らかく、歯がない子どもも食べやすく、野菜・肉・卵・米と栄養バランスも良く摂取できる。お母さんたちや村の住民がボボー作りを行った。また、寄付された衣類を村の子どもたちに配布した。



お粥の給食活動

4)保健指導

村の子どもたちに歯ブラシを配布し、歯磨きの指導を行った。歯ブラシの持ち方を知らない子どもが多いため、イラストを活用し、実際にイメージしやすいように指導した。指導時は、子どもの家族も参加してもらい、家族単位で歯ブラシの大切さを伝えた。

指導後、子どもたちは自ら歯ブラシを持ち、指導した方法で口腔内ブラッシングができるようになった。

また、札幌聖心女子学院高等学校の生徒の協力もあり、手洗い指導のラミネート加工された教材を作ることができた。文字が読めない人、子どもでもわかるように、文字ではなく絵や写真を多くするという工夫がされていた。子どもたちには清潔保持の意味を伝え、手洗い指導を行った。今後も衛生的な使用法について伝えていく必要がある。



(2) フィリピン キダパワン州児童養護施設「イースタービレッジ」における保健・教育支援



イースタービレッジの子どもたちと

2023年9月1日、フィリピン・ミンダナオ島キダパワン州キダパワン市に東さよみが派遣され、現地にて6か月間のセブアノ語の語学研修後、主に保健活動の活動を継続している。

児童養護施設イースタービレッジでは、保護者が子どもを経済的に養育できない、受刑中であるなど様々な理由で、8歳から20歳までの20名程が共同生活を送っている。日常的には敷地外の寮で暮らす大学生も週末は施設で過ごしたり、大学に通う奨学生や施設から自立した人々も活動に関わることがあり、総勢50名程のコミュニティとなっている。

子どもたちの健康状態に応じて、風邪症状に対応できる隔離部屋での観察、ケガや傷の手当てなどを行った。また、思春期相談(月経痛の緩和など)も実施した。

月に1回、身体測定と歯磨き教室を実施した。

また、子どもたちの活動のサポートとして、裁縫教室、お料理教室、日本語レッスンを実施した。

年に一度訪問する札幌教区の高校生スタディツアーでは、高校生たちの体調管理などのサポートも行った。

2025年1月17日、東が一時帰国の際に JLMM 事務局を訪問し、活動の報告を行った。



イースタービレッジに暮らす子どもたちと



ハロウィンパーティー

3. 調査・調整活動

今年度は調査・調整活動を実施しなかった。

4. 研修

今年度は研修を実施しなかった。

5. 派遣

今年度は派遣を行わなかった。

6. 派遣候補者の募集と選考

2025年度の新規派遣候補者募集を8月1日から10月31日まで行ったが、応募者がなかったため、選考を実施しなかった。

7. 団体連携・協力

(1) 特定非営利活動法人 AFMET

特定非営利活動法人 AFMET の運営に、協力した。

AFMET 理事会 4月15日、5月20日、6月17日、7月22日、8月27日、9月25日、12月13日、

2025年1月17日、2月17日
AFMET 総会 2025年3月15日
監査 2025年2月13日

9月22日にカトリック貝塚教会にて、AFMET 主催イベント「東ティモールの魅力 みんなで発見しよう！ 2024」を開催した。在日東ティモール人によるトークと料理、ダンスで交流した。東ティモール留学生や修道女の参加もあり、東ティモールのことについて多くの方に理解してもらう機会となった。

また、5月8日に新規案件検討会議をオンラインで実施した。

今年度も東ティモールフェスタの開催は休止となったが、フェスタのWEBは残され、WEB運営・メンテナンス面で協力した。

(2)ERST(緊急対応支援チーム)

日本カトリック中央協議会復興支援のもとに設置された ERST(緊急対応支援チーム)の事務局として、ERST 定例会、教区災害対応ワークショップの開催、および能登半島地震の被災地におけるサポートセンター設置支援などを行った。

6月19日から21日、長崎教区本部事務局にて ERST 定例会および長崎教区災害対応ワークショップを実施した。

11月20日から22日、大阪高松教区本部事務局にて ERST 定例会および大阪高松教区災害対応ワークショップを実施した。

その他定例会は中央協議会において4月18日・19日、2025年1月30日・31日、3月12日～13日に実施した。また、オンラインで8月29日・30日に実施した。



能登半島被災地での水支援



カリタスのとサポートセンターでのワークショップ

(3)カリタスのとサポートセンター

2024年1月1日に発災した能登半島地震災害に対応すべく、2024年1月6日以降、名古屋教区「カリタスのとサポートセンター」設立と支援システムづくりに協力している。引き続き4月9日～13日、4月23日～26日、5月12日～5月16日、5月28日～5月30日、6月4日～6月6日、6月25日～6月27日、7月8日～7月10日、7月18日～7月19日、10月1日～10月2日に現地で支援活動を行った。

10月からは辻と漆原がカリタスのとサポートセンターの運営委員として運営委員会に出席した。12月17日～18日、2025年3月4日～5日に運営委員会出席および現地視察に参加した。

(4)カリタス南相馬

東日本大震災と福島原発事故後の復興支援のため、一般社団法人カリタス南相馬の法人運営に協力した。

6月10日～13日、7月23日～25日、8月19日～22日、9月16日～18日、10月21日～24日、11月25日～28日、12月9日～10日、2025年1月20日～24日に現地にて運営支援を行った。

理事会は9月17日、12月10日、2025年2月10日に開催し、運営支援を行った。

(5)学校連携・協力

- ・横浜雙葉高等学校のスタディツアー企画のため、5月2日事前説明会・保護者説明会を実施した。ツアー実施後は9月22日に振り返りミーティングを行った。

- ・静岡聖光学院中学・高等学校のスタディツアー企画のため、6月14日にオンライン事前説明会を実施した。

- ・広島学院高等学校のカンボジアスタディツアーの打ち合わせをオンラインで実施した。(8月2日)

- ・NPO 法人地球対話ラボと連携し、光ヶ丘女子高等学校のタイ国メーソットのミャンマー人移民学校や児童養護施設におけるオンライン交流をサポートした。(2025年2月6日、2月16日)

(6)アジア・シノドス

- ・2025年2月3日～5日、シノドス特別チームの会合(香川県高松市)にスタッフが特別チームのメンバーとして出席した。

(7)諸団体、NGO との連携・協力

- ・JOMAS(海外邦人宣教者活動援助後援会)および大阪高松教区「カンボジア教会の日」から、JLMMカンボジアが実施するステンミエンチャイ地区におけるプロジェクトの資金的な協力を受けた。

- ・施設を共有するNPO 法人アルペなんみんセンターと活動面での相互協力を行った。

- ・株式会社オルタートレードジャパンやNPO 法人 APLA と連携し、フィリピンのバランゴンバナナの販売に協力した。9月27日に、APLA によるバランゴンバナナ・イベント(鎌倉・えしかる屋)にスタッフが参加した。

8. ゴスペル

4月4日、4月18日、5月4日、5月23日、6月13日、6月27日、8月1日、8月29日、9月5日、9月26日、10月10日、10月24日、11月7日、11月28日、12月5日、12月19日、12月19日、2025年1月9日、1月23日、2月13日、2月27日、3月6日、3月13日に練習を実施した。

12月7日、東京四谷のニコラバレ・ハウスにて「JLMM ゴスペル結成15周年の集い」を開催した。



設立 15 周年を迎えた JLMM ゴスペルクワイア

9. 海外ボランティア制度

今年度は積極的な募集をしなかったため、希望者がなく実施しなかった。

10. 広報

(1) ミッション(ニュースレター)発行 他

ミッションNo.201～203の計3号を以下のとおり発行した。

No.	発行日	部数	内容
No.201	2024年5月15日	3,000 部	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣地からの第一報！ ・カンボジア ・フィリピン ・カンボジアの胡椒で応援！ ・活動へのご協力をお願い
No.202	2024年12月 1日	3,000 部	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のカンボジアツアー4本催行！ ・カンボジア ・フィリピン ・クリスマスやお正月にカンボジアのプレゼント ・カンボジアの胡椒で応援！ ・クリスマス募金へのご協力をお願い
No.203	2025年3月20日	3,000 部	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のカンボジアツアー催行！ ・カンボジア ・フィリピン

			・カンボジアの胡椒で応援！ ・イースター献金へのご協力をお願い
--	--	--	------------------------------------

(2) 広告掲載等

カトリック新聞におおむね月1回、年29回広告を掲載した。

2024年

4月14日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
4月21日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
4月28日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
5月19日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
6月 2日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
6月16日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
6月30日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
7月 7日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
7月21日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
8月11日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
8月18日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
9月 1日	2段5cm	新たなミッシヨナリーを応援してください！
9月15日	2段5cm	ともに生きる人 募集中！
9月29日	3段1／2	ともに生きる人 募集中！（世界難民移住移動者の日）
10月 6日	2段5cm	ともに生きる人 募集中！
10月13日	2段5cm	ともに生きる人 募集中！
10月20日	2段5cm	ともに生きる人 募集中！
11月 3日	2段5cm	ともに生きる人 募集中！
11月17日	2段5cm	クリスマス募金にご協力ください！
11月24日	2段5cm	クリスマス募金にご協力ください！
12月 1日	2段5cm	クリスマス募金にご協力ください！
12月15日	2段5cm	クリスマス募金にご協力ください！

2025年

1月26日	2段5cm	ミッシヨナリーの活動をご支援ください！
2月 2日	2段5cm	ミッシヨナリーの活動をご支援ください！
2月 9日	2段5cm	ミッシヨナリーの活動をご支援ください！
2月16日	2段5cm	ミッシヨナリーの活動をご支援ください！
3月 2日	2段5cm	ミッシヨナリーの活動をご支援ください！
3月16日	2段5cm	ミッシヨナリーの活動をご支援ください！
3月30日	2段5cm	ミッシヨナリーの活動をご支援ください！

(3)新聞・雑誌記事掲載

特になし。

11. 報告会・説明会・講演

- ・長崎教区中町教会(6月22日)、城山教会(6月23日)にて、JLMM 活動紹介を行った。



城山教会における活動報告

12. 主催イベント

ソンベカフェとのコラボイベント「ソンベ・ナイト！」

鎌倉のソンベカフェにて、JLMM の現在と歴代の派遣国や、関係のある国々の料理を通して、様々な国の文化を学び、交流する企画をシリーズで企画・実施した。

- ・第4回「スリランカ・ナイト！」5月21日 アルペなんみんセンター入居者のフォーシル氏のスリランカ料理
- ・第5回「ミャンマー・ナイト！」9月4日 鎌倉在住のミミ氏のミャンマー料理



スリランカカレーを紹介



「ミャンマー・ナイト！」参加者

13. バザー・イベント等への参加・企画協力

・ラチャナ・カンボジア胡椒・カンボジアコーヒーの販売

5月3日鎌倉のアトリエそらのいろマーケット、6月9日片瀬教会福祉バザー、10月20日大阪高松教区インターナショナルデー、10月26日鎌倉婦人子供会館バザー、10月27日雪ノ下フェスタ、11月3日カトリック雪ノ下教会(カレンダー販売)、11月16日All4Oneライブ会場、11月17日聖公会逗子教会(カレンダー販売)にて実施した。

・鎌人いち場(かまんどいちば)

5月19日(日)および10月27日(日)に鎌倉・由比ヶ浜海岸公園で開催された「鎌人いち場」に出展。カンポット産胡椒やラチャナ・ハンディクラフトの展示販売を行った。

・ソンベカフェ、97Design Garage における胡椒などの委託販売を継続した。



今年度からカンボジアこどものアートカレンダーを
販売

14. その他事業

- ・ラチャナ・ハンディクラフトの事業支援とカンボジア活動地の紹介を行う目的として、ラチャナ・ハンディクラフトの手工芸品を輸入し販売を行った。ラチャナ代表のイー・シバナ氏が2024年2月に逝去されたことを受け、ピエクトラ氏が団体の後継者となったが、5月18日にピエクトラ氏とオンライン会議を行い、今後も連携を継続していくことを確認した。
- ・カンボジア・カンポットで首都圏に出稼ぎに行かなくても地方での就業を支援する目的として、パラダイスガーデン・カンポット社から胡椒を輸入し販売を行った。
- ・カンボジア・シェムリアップ市内の支援団体「小さな美術スクール」と連携し、カンボジアのこどもたちの絵画による「JLMM オリジナル・こどものアートカレンダー2025」を新規商品として制作し、約 500 部販売した。

15. ファンドレイジング

- ・Brand Pledge: 支援者が不要になったブランド品を送ることで、その売上がJLMMに寄付金として寄付される。 2024年度 0件
- ・キモチと。: 支援者が不要になった本や CD などブックオフに送ることで、その売上がJLMMに寄付金として寄付される。 2024年度 4件 1,544,122 円

16. OB・OG会

今年度は実施されなかった。

17. スタディツアー

- ・横浜雙葉高等学校のカンボジアスタディツアーを(2024年3月26日から)4月1日まで実施した。(高校生12名)
- ・静岡聖光学院中学・高等学校ラグビー部のカンボジアスタディツアーを7月6日から7月11日まで実施した。(中学生・高校生8名)
- ・上智福岡高等学校のカンボジアスタディツアーを7月21日から7月30日まで実施した。(高校生12名)
- ・大阪高松教区カトリック幼稚園教員のカンボジアスタディツアーを8月5日から8月13日まで実施した(教員9名)。ツアー後の10月18日には大阪高松教区布施教会にてツアー報告会と参加者の集いを行い、それぞれの体験を分かち合った。
- ・横浜雙葉高等学校のカンボジアスタディツアーを8月17日から8月23日まで実施した。(高校生12名)
- ・広島学院高等学校のカンボジアスタディツアーを12月21日から28日まで実施した。(高校生12名)
- ・サレジオ学院高等学校 1 年生のカンボジア・バーチャルスタディツアーを2025年2月10日に実施した。(プノンペン市活動地、サレジオ高校、JLMM事務所の3元中継)



幼稚園教員ツアーでは JLMM カンボジアスタッフの
ためのミニ研修



サレジオ学院高校のバーチャルスタディツアー

- ・エスコラピオス海星高等学校のカンボジア・ボランティアツアーの引率教員の下見を行った。(3月16日～21日)

18. スタッフ研修

- ・実施しなかった。

19. 会議

(1) 総会

開催回	開催日	会場	議 題
定時	2024年 6月24日	ニコラ・バレ105 号室	・2023年度事業報告(案)及び収支決算(案)について

(2) 理事会

開催回	開催日	会場	議 題
第1回	2024年 6月3日	オンライン会議	・各国・国内活動状況について ・2023年度活動報告(案)及び収支決算(案) ・2024年度活動計画(案)並びに収支予算(案) ・2025年度派遣者募集について
第2回	2024年 9月2日	オンライン会議	・各国・国内活動状況について ・2025年度派遣候補者募集について
第3回	2024年 12月11日	オンライン会議	・各国・国内活動状況について ・来年度以降の派遣候補者募集について
第4回	2025年 3月3日	オンライン会議	・各国・国内活動状況について ・法人税申告期限の延長申請について ・総会について ・役員の選任について ・2025年度計画について

20. 正会員・理事・顧問司教

正会員は次のとおりである。当会の正会員は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定されている社員である。

	氏 名	備 考
1	緒方 真理子	
2	岸野 真理子	
3	眞鍋 まり	
4	大垣 俊朗	
5	漆原 比呂志	

6	辻 明美	
7	金山 重之	
8	小林 誠	
9	渡邊 怜子	
10	松村 繁彦	

役員構成は次のとおりである。

理事の任期は2023年6月26日から2024年度最終総会まで、監事の任期は2023年6月26日から2026年度最終総会までとなる。

顧問司教は山野内倫昭さいたま教区司教である。

	役 職	氏 名	所 属 等	備考
1	代表理事	松村 繁彦	カトリック札幌教区事務局長	
2	理事	浜崎 眞実	カトリック横須賀三笠教会主任司祭	指導司祭
3	理事	高橋 睦子	幼きイエス会	
4	理事	佐久間 勤	イエズス会	
5	理事	渡邊 怜子	日本カトリック信徒宣教会・OG	
6	理事	高橋 真也	日本カトリック信徒宣教会・OB	
7	理事	漆原 比呂志	JLMM 事務局 / OB	事務局長
1	監事	小林 和夫	日本カトリック信徒宣教会・OB	
2	監事	徳 芳郎	徳芳郎税理士事務所	

徳芳郎監事及び小林和夫監事による監査を実施した。

2024年5月26日、29日

21. 加盟団体等

2025年3月31日現在、当会が所属する団体等は次のとおりである。

日本カトリック司教協議会 公認団体（2002年5月9日加盟）

特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)正会員（2009年10月23日承認）

22. その他

- ・事務局職員の健康診断を実施した。（10月9日）

貸借対照表
2025年3月31日現在

一般社団法人JLMM

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金（外貨含む）	355,728	123,645	232,083
普通預金	1,524,160	2,862,373	△ 1,338,213
定期預金	820,065	100,000	720,065
前払費用	407	0	407
未収入金		10,000	△ 10,000
棚卸資産	563,719	549,262	14,457
流動資産合計	3,264,079	3,645,280	△ 381,201
2. 固定資産			
工具器具備品	110,750	156,969	△ 46,219
固定資産合計	110,750	156,969	△ 46,219
資産合計	3,374,829	3,802,249	△ 427,420
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	1,555,917	606,325	949,592
未払金	273,170	706	272,464
預り金	121,220	451,204	△ 329,984
流動負債合計	1,950,307	1,058,235	892,072
2. 固定負債			
国内積立金給付引当金	820,000	100,000	720,000
固定負債合計	820,000	100,000	720,000
負債合計	2,770,307	1,158,235	1,612,072
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産合計	604,522	2,644,014	△ 2,039,492
正味財産合計	604,522	2,644,014	△ 2,039,492
負債及び正味財産合計	3,374,829	3,802,249	△ 427,420

2024年度正味財産増減計算書
2024年4月1日から2025年3月31日まで

一般社団法人JLMM

(単位：円)

	当年度	前年度	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	887,000	776,000	111,000	
受取会費	887,000	776,000	111,000	
受取寄付金	13,266,383	12,193,167	1,073,216	
受取寄付金	13,266,383	12,193,167	1,073,216	
受取寄付金振替額	0	0	0	
受取助成金	3,225,618	3,089,950	135,668	
受取助成金	3,225,618	3,089,950	135,668	
受取助成金振替額	0	0	0	
その他の収益	2,638,694	3,451,071	△ 812,377	
雑収益	630	8,019	△ 7,389	
受取利息	630	9	621	
雑収入	0	8,010	△ 8,010	
経常収益計	20,018,325	19,518,207	500,118	
(2) 経常費用				
事業費				
給与手当	6,385,920	6,372,420	13,500	
法定福利費	1,116,154	960,006	156,148	
福利厚生費	12,547	10,564	1,983	
会場費	9,000	79,750	△ 70,750	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	181,489	724,219	△ 542,730	
通信運搬費	888,607	1,166,118	△ 277,511	
消耗品費	125,323	410,665	△ 285,342	
国内積立金給付費用	720,000	100,000	620,000	
印刷製本費	180,512	241,645	△ 61,133	
現地活動費	5,088,758	5,198,199	△ 109,441	
休暇手当	50,000	0	50,000	
賃借料	45,539	30,960	14,579	
保険料	427,290	463,620	△ 36,330	
諸謝金	10,000	192,274	△ 182,274	
支払手数料	21,122	47,977	△ 26,855	
広告費	174,955	164,175	10,780	
委託費	0	102,700	△ 102,700	
租税公課	125,800	0	125,800	
仕入高	1,579,073	1,804,244	△ 225,171	
事業費計	17,142,089	18,069,536	△ 927,447	

	当年度	前年度	差異	備考
管理費				
給料手当	3,407,100	3,422,850	△ 15,750	
法定福利費	600,633	566,901	33,732	
福利厚生費	5,282	5,282	0	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	25,119	10,915	14,204	
通信運搬費	82,136	41,249	40,887	
減価償却費	46,218	46,218	0	
消耗品費	10,131	21,210	△ 11,079	
印刷製本費	0	13,490	△ 13,490	
光熱水料費	0	60,000	△ 60,000	
賃借料	0	0	0	
リース料	19,404	19,404	0	
委託費	0	0	0	
諸会費	44,125	44,125	0	
租税公課	0	10,600	△ 10,600	
施設負担金	600,000	600,000	0	
修繕費	0	0	0	
慶弔費	0	41,500	△ 41,500	
支払手数料	44,371	49,735	△ 5,364	
為替差損	31,208	0	31,208	
管理費計	4,915,727	4,953,479	△ 37,752	
経常費用計	22,057,816	23,023,015	△ 965,199	
当期経常増減額	△ 2,039,491	△ 3,504,808	1,465,317	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1	0	1	
経常外費用計	1	0	1	
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1	
当期一般正味財産増減額	△ 2,039,492	△ 3,504,808	1,465,316	
一般正味財産期首残高	2,644,014	6,148,822	△ 3,504,808	
一般正味財産期末残高	604,522	2,644,014	△ 2,039,492	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	0	0	
受取助成金	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	604,522	2,644,014	△ 2,039,492	

2024年度正味財産増減計算書内訳
2024年4月1日から2025年3月31日まで

一般社団法人JLMM

(単位：円)

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費	0	0	0	0	0	0	887,000	0	887,000
受取会費							887,000		887,000
受取寄付金	0	8,204,055	0	953,839	118,187	0	3,990,302	0	13,266,383
受取寄付金	0	8,204,055	0	953,839	118,187	0	3,990,302		13,266,383
受取寄付金振替額									0
受取助成金	0	3,225,618	0	0	0	0	0	0	3,225,618
受取助成金		3,225,618							3,225,618
受取助成金振替額									0
その他の収益						2,638,694			2,638,694
雑収益	0	0	0	0	0	0	630	0	630
受取利息							630		630
雑収入									0
経常収益計	0	11,429,673	0	953,839	118,187	2,638,694	4,877,932	0	20,018,325

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
(2) 経常費用									
事業費									
給与手当	0	3,192,960	0	0	0	3,192,960			6,385,920
法定福利費	0	558,077	0	0	0	558,077			1,116,154
福利厚生費	0	7,265	0	0	0	5,282			12,547
会場費	0	0	0	0	9,000	0			9,000
会議費	0	0	0	0	0	0			0
旅費交通費	0	0	0	36,132	76,995	68,362			181,489
通信運搬費	0	36,192	0	736,453	12,064	103,898			888,607
消耗品費	0	19,517	0	14,240	37,538	54,028			125,323
国内積立金給付費用	0	720,000	0	0	0	0			720,000
印刷製本費	0	2,380	0	178,132	0	0			180,512
現地活動費	0	5,088,758	0	0	0	0			5,088,758
休暇手当	0	50,000	0	0	0	0			50,000
賃借料	0	0	0	33,539	0	12,000			45,539
保険料	0	427,290	0	0	0	0			427,290
諸謝金	0	0	0	0	10,000	0			10,000
支払手数料	0	4,290	0	1,601	0	15,231			21,122
広告費	0	0	0	174,955	0	0			174,955
租税公課						125,800			125,800
仕入高						1,579,073			1,579,073
事業費計	0	10,106,729	0	1,175,052	145,597	5,714,711	0	0	17,142,089

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
管理費									
給料手当							3,407,100		3,407,100
法定福利費							600,633		600,633
福利厚生費							5,282		5,282
会議費							0		0
旅費交通費							25,119		25,119
通信運搬費							82,136		82,136
減価償却費							46,218		46,218
消耗品費							10,131		10,131
印刷製本費							0		0
賃借料							0		0
リース料							19,404		19,404
委託費							0		0
諸会費							44,125		44,125
租税公課							0		0
施設負担金							600,000		600,000
修繕費							0		0
慶弔費							0		0
支払手数料							44,371		44,371
為替差損							31,208		31,208
管理費計	0	0	0	0	0	0	4,915,727	0	4,915,727
経常費用計	0	10,106,729	0	1,175,052	145,597	5,714,711	4,915,727	0	22,057,816
当期経常増減額	0	1,322,944	0	△ 221,213	△ 27,410	△ 3,076,017	△ 37,795	0	△ 2,039,491

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損							1		1
経常外費用計	0						1		1
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	0	1,322,944	0	△ 221,213	△ 27,410	△ 3,076,017	△ 37,796	0	△ 2,039,492
一般正味財産期首残高	2,629,942	1,747,995	1,443,713	4,735,767	1,132,873	△ 11,355,402	2,309,126	0	2,644,014
一般正味財産期末残高	2,629,942	3,070,939	1,443,713	4,514,554	1,105,463	△ 14,431,419	2,271,330	0	604,522
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金									0
受取助成金									0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高								0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,629,942	3,070,939	1,443,713	4,514,554	1,105,463	△ 14,431,419	2,271,330	0	604,522

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

車両運搬具、工具器具備品・・・・・・定額法による減価償却をしている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期減価償却額	当期末残高
工具器具備品	156,969	0	0	46,219	110,750
合 計	156,969	0	0	46,219	110,750

3 指定正味財産から一般正味財産への振替額は次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
合 計	0

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
大阪教区カンボジアの日	大阪教区	0	1,581,477	1,581,477	0	一般正味財産
JOMAS	JOMAS	0	1,644,141	1,644,141	0	一般正味財産
合 計		0	3,225,618	3,225,618	0	

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産を有していない。

2. 引当金の明細

2023年度より派遣者の帰国時に支給する国内積立金給付のために国内積立金給付引当金を設置した。

内訳は次の通り

	月数	人数	金額
フィリピン派遣	13	1	260,000
カンボジア派遣	14	2	560,000
計	27	3	820,000

財 産 目 録

2025年3月31日現在

一般社団法人 J L M M

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現 金		手持現金	148,210
		外貨 (1,387 USD、米ドル) ※換算レート1 USD =149.617円	207,518
預 金	普通預金		
	三菱UFJ銀行六本木支店	運転資金として	150,532
	三菱UFJ銀行六本木支店	寄付金等受け入れとして	1,086,239
	郵便振替	寄付金等受け入れとして	287,389
	定期預金		
	三菱UFJ銀行六本木支店		820,065
	前払費用		407
	棚卸資産		563,719
流動資産合計			3,264,079
(固定資産)			
什器備品	パソコン3台	事務局にて使用	110,750
固定資産合計			110,750
資産合計			3,374,829
(流動負債)			
買掛金			1,555,917
未払金	ミッション送付代ほか各種支払		273,170
預り金	社会保険料ほか		121,220
流動負債合計			1,950,307
(固定負債)			
引当金	国内積立金給付引当金		820,000
固定負債合計			820,000
負債合計			2,770,307
正味財産			604,522

監査意見書

一般社団法人 J L M M 定款第 27 条の規定に基づき、2024 年度における理事の職務執行状況、事業の執行状況並びに財務の状況について、当該年度の通常理事会議事録、活動報告書及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていると認められた。

2025 年 5 月 10 日

一般社団法人 J L M M

監 事 (財務)

徳 井 孝 二

2025 年 5 月 21 日

一般社団法人 J L M M

監 事 (事業)

小 林 孝 夫